

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	関西医科大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	難病の革新的治療法の開発研究 (骨髄内骨髄移植を用いた難病モデルでの検討)		
中核となる専攻等名	医学研究科病理系専攻		
事業推進担当者	(リダー)池原 進 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本学がこれまでプロジェクト研究として推進してきた「移植センター」および「再生医学難病治療センター」における画期的な研究成果である新しい骨髄移植の技術、“骨髄内骨髄移植法”と“灌流法”は、移植片対宿主病や生着不全等、ヒト同種骨髄移植の主要問題を解決する革新的技術であり、造血幹細胞の異常に基づく白血病や自己免疫疾患のみならず、間葉系幹細胞の加齢に伴って発症する多様な疾患(血管障害、アルツハイマー病、糖尿病等)の根治療法の開発に直結する。同技術をコアとすることにより、幅広い研究分野における基礎研究からヒトへの臨床応用に連続して展開する研究拠点を形成することが可能であり、医学分野でのトランスレーショナル・リサーチのひとつのモデルとなり得る。そのため、トランスレーショナル・リサーチ志向型専攻系の創設を含めた大学院の改組と、若手研究者支援体制を拡充することで、移植・再生医療を軸とした国際的研究に中心的な役割を担う研究者の育成を図る。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>実験病理学の課題等に基づいて、独創的な骨髄移植方法を開発して難病における治療の領域を生み出そうというユニークな構想であり、高く評価したい。難治自己免疫疾患の治療、移植治療などに寄与することが期待できる。</p>			